

## 中川一政美術館学芸員募集のお知らせ

中川一政美術館の学芸員を募集します。

◇職種 学芸員（1名）

◇採用予定日

10月1日からの採用を予定。※土日勤務あり

◇受験資格

昭和53年4月2日から平成13年4月1日までに生まれ、学芸員の資格を有する者で学校教育法による大学、大学院において、美術史または美学を専攻し学芸業務全般に従事できる者

◇申込期間

8月7日(月)～25日(金)まで  
※土日を除く

◇提出書類

- ・履歴書
- ・最終学校の卒業（見込み）証明書
- ・最終学校の成績証明書
- ・学芸員資格を有することを証明する書類

◇試験日 別途連絡

□問い合わせ

教育課 ☎内線441

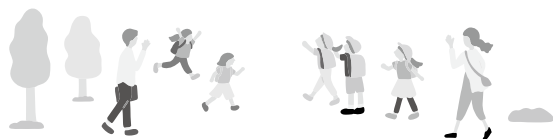
## 学校建設準備委員会がスタートしました！

令和4年7月、「真鶴町学校教育あり方検討会」からの「交流と多様性を重視した活動を実現するためには、施設一体型または施設隣接型の幼小中一貫教育校が望ましい。」との提言を受け、6月28日、町民センター講堂において、「第1回真鶴町学校建設準備委員会」が開かれました。新たな学校づくりに向け、具体的な検討が始まった第1回準備委員会の概要報告と委員の皆さんを紹介します。

### “夢”あるところに“成功”あり

（吉田松陰の言葉より一部引用）

自己紹介、委員長・副委員長の選出、事務局からのこれまでの経過報告のあと、委員の皆さんから新しい学校にかける“夢”や“思い”を語っていただきました。主な内容は次の通りです。



- \*愛が生まれる学校にしたい。
- \*郷土愛を育む一貫教育を行って欲しい。
- \*先生たちが働きやすい環境も重要である。
- \*地域の方にとっても安全・安心な場所にしたい。
- \*若者たちをサポートできる場であって欲しい。
- \*大人も含めて学び直しができる学校にしたい。

- \*町全体を学びの場として捉えていきたい。
- \*子どもがわくわくして通えるような学校にしたい。
- \*学校を地域のコミュニティの場としていきたい。
- \*社会の変化に対応できる学校にしていきたい。
- \*オープンスペースを設け少人数の良さを生かす。
- \*誰にとってもサードプレイスとなれば良い。
- \*「この町が好き」と言える子を育てる学校にしたい。
- \*建物のほかに教育のシステム作りも検討したい。
- \*子どもが将来自立できるための教育を進めたい。
- \*家族のような関係性が学校で生まれればと考える。
- \*地域の人たちとの双方向の学びを創り出したい。
- \*みんなにとって居場所のある学校にしたい。

### 委員の皆さんです。よろしくお願ひします！

- 長澤 悟 (学識経験者:学校教育)
- ◇竹原 和泉 (学識経験者:社会教育)
- ◇藤井 明香 (公募)
- ◇玉田 麻里 (公募)
- ◇山口 稚奈 (保護者:幼稚園PTA)
- ◇勝山 匡 (保護者:小中学校PTA)
- ◇朝倉 隆 (関係団体:自治会連合会)
- ◇古川 昌子 (関係団体:民生児童委員協議会)
- ◇伊藤 晴美 (関係団体:人権擁護委員会)
- ◇倉澤 良一 (校長会:ひなづる幼稚園)
- ◇露木 寛子 (校長会:まなづる小学校)
- ◇市川 麻美 (校長会:真鶴中学校)
- ◎瀧本 朝光 (教育委員) ◎=委員長
- ◇上甲 新太郎 (副町長代理) ○=副委員長
- ◇瀬瀬 仁志 (教育長) <敬称略>

### ☆課題として挙げられた内容☆

- ・財政面(維持費等)も考慮すべきである。
  - ・一貫校を検討するにあたり、町の幼児教育についても考えるべきである。
- ⇒ 幼稚園・保育所の将来を  
考える部会を設立します。

議事録(要約)は  
コチラから→



次回は、9月22日(金)午後2時～町民センター第2会議室(予定)テーマ「一貫教育校の形態」「建設場所」、他に部会からの報告

問い合わせ 教育課教育総務係 ☎内線434